第 2 版について

第 1 版の上梓は 2005 年 11 月のことだったので，3 年あまりを経過して増刷の運びとなったことになる．このことは本書に対する斯界の期待が大きかったことの証左であろうと推察され，編者としてはまことにうれしい限りである．

初版出版後間もなく，誤植や記述（特に数値や学名表記）の不適切な箇所のあることが分かっていたので，一日も早く訂正の機会がおとずれることを願っていた．このたびその機会が到来したので，各分担執筆者に再校正をお願いし，指摘のあった誤植や不備な箇所について必要最小限の訂正，加筆などを行った．たとえば，V ウイルス中，「11-1-3 DNA ウイルス（分類 I, II）」と「11-1-4 RNA ウイルス（分類 III, IV, V）」については一読者から理解しにくい箇所があるとの指摘があり，第 2 版 p. 377，379 に示すように修正，加筆した．本書の中核をなす微生物系統分類学および関連分野は日進月歩である．たとえば菌類（地衣類を含む）では昨年前半に Deep Hypha，AFTOL (Assembling the fungal tree of life) 両プロジェクトの研究成果が発表され，目レベル以上の高次分類体系は 1 界 (Fungi)，1 亜界 (Dikarya)，7 門（微胞子虫門を含む），10 亜門，35 綱，12 亜綱，129 目に再編された．細菌では Bergey’s Manual 第 2 版第 3～5 巻の刊行が引き続き予定されている．このような新しい分類群の創設や学説の登場により，第 1 版で採用した分類体系の枠組みに修正を必要とする箇所があちらこちらにある．しかし，本書の方針として，それらの大きな修正や加筆は本書の前面改訂の機会に譲ることとし，最新の分類体系について深くふれたい読者のために，関係する文献情報を下記に示し，理解の一助としたい．

菌類 (Deep Hypha/AFTOL 関係ほか)：

24 編の論文 (2007 [‘2006’]) Mycologia (“A phylogeny for kingdom Fungi, Deep Hypha issue”) **98** (6): 829-1106. <http://msafungi.org/>

Hibbett, D. S. and 66 others (2007) Higher-level classification of the Fungi. Mycological Research **111**: 509-547. <http:www.elsevier.com/locate/mycres>

Webster J. and R. W. S. Weber (2007) “Introduction to Fungi” 3rd Edn., Cambridge Univ.
Press, Cambridge.

Kirk, P. M., P. F. Cannon, D. W. Minter and J. A. Stalpers (2008) Dictionary of the Fungi,
10th Edn., CABI International, Wallingford, Oxon, UK.

地衣類：

Lumbsch, H. T. and S. M. Huhndorf, eds. (2007) Outline of Ascomycota 2007. Myconet **13**:

1-58. <http://www/fieldmuseum.org/myconet/outline.asp>

細菌：

Garrity, G. M. (Editor-in-Chief) “Bergey’s Manual of Systematic Bacteriology”

2nd Ed., Vols. 3-5, Springer, New York. (順次刊行される予定)

最新の学名情報は “List of Prokaryotic Names with Standing in Nomenclature”

(LPSN) <http://www.bacterio.cict.fr/> にアクセスされたい.

Dworkin, M. et al. (2007) “The Prokaryotes, A Handbook on the Biology of Bacteria”

3rd Edn.,Vols. 1-7, Springer, New York

ウイルス：

Fauquet, C. M. et al. (eds.) (2005) “Virus Taxonomy: Eigth Report of the International

Committee on Taxonomy of Viruses” Elsevier Academic Press, San Diego.

<http://www.ictvonline.org/>

2009 年 2 月

編者　杉山 純多